

地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第172号



2021年2月17日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: [yv2t-tnk@asahi-net.or.jp](mailto:yv2t-tnk@asahi-net.or.jp)

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9-19



## 拡大幹事学習会講義②

我が家のルーツを探す旅 中国・満州編

## 愛加那でコロナ手当支給！

県医労連は2/7、zoomで中央委員会を開き、28単組が参加し、7人が指名発言しましたが、そのうち3人が横三労連傘下の組合でした。

かがみ田苑労組は、結成に至る経過と、横三労連・市議会と連携して、運営民主化の糸口が出来、組合結成後非正規の組合員を拡大した事を岩永委員長が報告しました。

愛加那は、クラスターが発生し、35人が陽性となる中、組合員も3人陽性となり、土

日も感染予防に追われて防護服での参加でしたが、組合がコロナ手当を要求し、青木前委員長が理事会で奮闘し、1千万の財源を確保。1日5千～2万円という、組合要求を超える手当が実現したことを、永峯委員長が報告しました。

うわまち病院では、陽性者が続出し、勤務者が減って月8回夜勤(二交替)という激務の職場も出て、患者受け入れ制限がされている事を加藤委員長が報告しました。

私の祖父は西本願寺の僧侶として1936年中国満州のハイラルへ駐在していました。父は当時1歳。2019年6月2日から7日まで「中国・満蒙ツアー」(富士国際旅行)に参加しました。内モンゴルにあるハイラルでは祖父と父が住んでいた礼拝寺街、関東軍の要塞跡、旧日本人小学校などを散策し、我が家の遠い記憶に思いを馳せました。ハルピン郊外にある731部隊跡を訪れ「悪魔の飽食」の真実を学びました。ノモンハン事件(1939)の戦跡では言葉を失いました。ソ連の戦車隊に押し潰され関東軍はほぼ全滅しています。バスの窓から西に沈む夕陽を見て「戦死者の血に染まっている」と感じました。日本が始めた侵略戦争、そして名もなき兵士や庶民が犠牲になったことを知り、反戦の思いを新たにしました。

公務公共一般 A.H



## かがみ田苑の団体交渉続行！

組合結成後初となる、かがみ苑との2回目の団体交渉が、2/午後5時半から、かがみ田苑食堂で行われます。横三労連への加盟申請が幹事会で承認され、横三労連傘下の組合から参加できます。多数で参加し、かがみ田苑の仲間を励ましましょう。バスの便が少ないため、京急久里浜駅ロータリーに5時に集合し、タクシーで向かいます。

非正規職員が一人、組合に加入しましたが、市議会での質問に反発し、共産党県委員会に苦情を述べる動きも出ています。